

平成30年度事業実績報告について

1 概 要

食品衛生自主管理推進事業、食品、水質及び保菌等の検査勸奨事業、食品衛生知識の普及啓発事業、優良食品等推奨事業、会員の福利厚生事業など食品衛生の確保と業界発展向上を図るとともに県民の健康増進に寄与するための諸事業を県をはじめ各県保健福祉事務所、中核市の福島市、郡山市及びいわき市保健所並びに日食協等関係団体のご指導と各地区食品衛生協会のご努力及び会員の積極的なご協力によりまして、次のとおり成果を上げることができました。

(1) 組織の現状

① 役員（平成31年4月1日現在）

会 長	1名	
副会長	2名	
理 事	9名	
監 事	3名	計 15名

② 各地区食品衛生協会の状況

地 区	営業許可件数	食品衛生指導員数	食品衛生責任者数 (累計養成者数)	地区職員数
福島県北	8,430	154	18,703	4
郡 山	6,408	60	14,815	2
県 中	3,751	179	6,896	2
県 南	3,096	63	6,232	2
会 津	6,326	86	14,167	2
南会津	1,146	14	1,886	1
相 馬	2,044	27	4,698	2
双 葉	449	21	2,354	1
いわき	6,959	87	17,869	2
県食協		1		
合 計	38,609	692	87,620	18

2 会議関係

(1) 公益社団法人 福島県食品衛生協会関係

開催年月日	会 議 名 等	会 場	備 考
H30.5.8	監査会	コラッセふくしま	平成29年度事業と決算の監査 (出席者：6名)

H30. 5. 15	第 1 回理事会 第 3 回組織改革会議	コラッセふくしま	通常総会付議事項等 (出席者：14名) 取組プランの作成
H30. 5. 30	平成 30 年度第 5 回通常総会	杉妻会館	平成 29 年度事業報告と決算、 平成 30 年度事業計画と予算等 (出席者：正会員 9 名ほか 計 42 名)
H30. 6. 13	平成 30 年度 食品衛生指導委員会	ビッグパレット	平成 30 年度委員会 事業計画等 (出席委員：10名)
H30. 6. 13	食品衛生指導員研修会	ビッグパレット	巡回指導の重点指導項目等 (出席者：37名)
H30. 6. 25	第 2 回理事会	コラッセふくしま	日食協会長等被表彰者推薦審査 今後の日程等 (出席者：14名)
H30. 9. 7	会員増強モデル支部事業事務局 会議	郡山商工会議所	事務の合理化等 (出席者：11名)
H30. 9. 7	あんしんフード君特別支援支部 推進会議	郡山商工会議所	特別支援支部推進強化事業等 (出席者：37名)
H30. 9. 12	第 3 回理事会	福島テルサ	当協会長表彰の被表彰者審査 報告事項 (出席者：15名)
H30. 11. 1	福島県生活衛生・食品衛生大会 研究集会	福島テルサ	
H31. 2. 8	地区食品衛生協会職員研修会	郡山商工会議所	自主検査日程、食品衛生責任者 養成講習会、協議事項等 (出席者 15名)
H31. 3. 14	第 4 回理事会	コラッセふくしま	平成 31 年度事業計画、予算等 (出席者 16名)

(2) 公益社団法人 日本食品衛生協会関係

開催年月日	会 議 名 等	会 場	備 考
H30. 6. 6	北海道東北ブロック連絡協議会	宮城県	ブロック大会提出議案等
H30. 6. 7～ 6. 8	北海道・東北ブロック大会	宮城県	表彰、ブロック大会決議等 (本県出席者：24名)
H30. 6. 15	日食協総会 共済協同組合総代会	食品衛生センター	総会、総代会、支部長会

H30.10.5 ～10.6	北海道・東北ブロック連絡協議 会三部会長会議	仙台市	指導員部会、共済部会、事務局 長会議（本県出席者3名）
H30.10.24	日食協支部長会議等	食品衛生センター	協議事項等
H30.10.24	食品衛生指導員全国大会	ニッショウホール (東京都)	食品衛生指導員体験発表会・ 表彰式（出席者：13名）
H30.10.25	食品衛生表彰の会	明治座（東京都）	表彰大会（出席者：31名）
H31.1.18	新春賀詞交換会	明治記念館	
H31.3.22	日食協支部長会議 食品衛生共済協同組合理事会	食品衛生センター	平成31年度事業計画、収支予 算

3 事業関係

<公益関係事業>

(1) 食品の自主管理体制の強化推進に関する事業

① 日食協補助金に伴う巡回指導等の事業

食品衛生指導員活動状況（別表1）

巡回指導

指導延べ施設数 15,341施設

指導員の活動延べ人員 5,752名

② 福島県費委託事業

飲食店営業施設等へのHACCP導入普及事業

飲食店営業施設等に対するHACCP導入義務化の周知、及びHACCPの考え方に基づ
く衛生管理の導入普及について、食品衛生指導員による巡回指導等を実施しました。

ア 食品衛生指導員による巡回指導

巡回指導延べ施設数 9,369施設

活動食品衛生指導員延べ人員 3,043名

イ 講習会

開催延べ回数 87回

受講者数 2,144名

ウ 営業許可の申請時等

件数 3,266件

(2) 食品衛生指導員講習会等

① 食品衛生指導員事業推進研修会等

ア 日本食品衛生協会特別補助事業並びに平成30年度巡回指導事業推進のための研修会の開催

期日 平成30年6月13日

場所 ビッグパレット 出席者 37名

<研修会内容>

食品衛生の動向 福島県食品生活衛生課 主任主査 星 賢 様

巡回指導の重点項目等 (公社)福島県食品衛生協会 参 与 中島 眞一

イ 食品衛生指導員再教育研修会（別表2）（別表3）

平成30年度の食品衛生指導員の巡回指導における重点指導項目は、「HACCPの考え方に基づ
く衛生管理」の項目で、各食品衛生協会ごとに研修会が行われました。

17会場、 受講指導員数 延べ518名

② 食品衛生指導員の体験発表会の開催

○ 福島県食品衛生指導員研究集会

食品衛生指導員の業務の推進を図るため、食品衛生指導員体験発表を県生活衛生・食品衛生大会に合わせて開催しました。

期 日 平成30年11月1日（木）

場 所 福島テルサ

発表者 食品衛生指導員になって 食品衛生指導員 永井 弘純（田村市）
食品衛生指導員として 食品衛生指導員 荒川由美子（白河市）
食品衛生指導員として思うこと 食品衛生指導員 浅川 美子（会津若松市）

○ 全国食品衛生指導員大会

食品衛生指導員の業務の推進を図るため、本県から指導員等5名が参加しました。

日 時 平成30年10月24日（水）

場 所 ニッショウホール（東京都）

③ 平成30年度第8回食品衛生指導員全国研修会

平成30年9月10日～11日、埼玉県において（公社）日本食品衛生協会主催の食品衛生指導員全国研修会が開催され、本県から食品衛生指導員3名が参加しました。

<主な研修内容>

厚生労働省における最新の食品衛生の取り組みについて

厚生労働省医薬食品局食品安全部 監視安全課

小規模な一般飲食店向けHACCPの考え方を取り入れた衛生管理について

（公社）日本食品衛生協会

④ 「食の安心・安全・五つ星店」の登録

食の安心・安全・五つ星店として、74施設（6地区）が登録されました。

店舗の紹介が公益社団法人日本食品衛生協会のホームページに掲載されています。

⑤ 手洗いマイスターの養成等（別表4）（別表5）

巡回指導等において日食協が推奨する「衛生的な手洗い」を普及するため、手洗いマイスター認定講習会を3回開催し、26名の手洗いマイスターを養成し、合計218名となりました。

また、手洗いマイスターの活動として、各地区において手洗い教室を計6回開催しました。

（3）食品衛生功労者及び優良施設等の表彰事業

① 県関係表彰

ア 平成30年11月1日（木）	福島テルサ		
福島県食品衛生協会会長表彰	食品衛生功労者		15名
	食品衛生優良施設		19施設
	優良食品衛生指導員		21名
	感謝状		1名
保健文化受賞記念特別表彰			1名
福島県知事表彰	食品衛生優良施設		12施設

② 中央関係表彰

ア 平成30年10月24日	ニッショウホール（東京都）		
日本食品衛生協会理事長表彰	優良食品衛生指導員		5名
イ 平成30年10月25日	明治座（東京都）		
厚生労働大臣表彰	食品衛生優良施設		1施設
	食品衛生功労者		3名
日本食品衛生協会会長表彰	食品衛生功労者		7名
	食品衛生優良施設		4施設
	行政担当者（感謝状）		2名
日本食品衛生協会創立70周年記念表彰	感謝状		1名

（4）食品営業の許可に係る事務指導事業

食品営業の許可申請に係る事務指導を行いました。

新規 2, 632件

継続 4, 746件

指導延べ日数1, 825日(新規・継続)

(5) 食品、水質及び保菌検査実施の勸奨・衛生向上の支援事業

食品等事業者が行う自社製品の衛生管理の一環として、消費者に提供する食品の安全・安心の確認検査（食品及び水質検査）実施の勸奨を行いました。検査は厚生労働大臣登録検査機関（食品検査）、福島県知事等の指定検査機関（水質）の公益財団法人福島県保健衛生協会で行いました。

また、検査結果に基づき衛生管理の指導・助言を実施し、施設改善等の支援を行いました。

食品及び水質等の検査を行った施設には「平成30年度食品自主検査済証」（円形）、「平成30年度水質自主検査済証」（六角形）、「平成30年度保菌検査済証」（四角形）のステッカーを頒布し、食品及び水質の検査等の啓発に努めました。

受検した検体数 食品7, 560件 水質691件 保菌842件

※ 各食品衛生協会別の実施状況（別表6）

(6) 食品中の放射性物質検査事業及び相談事業

平成23年7月1日より(公社)日本食品衛生協会食品衛生研究所の協力をいただき、食品中の放射性物質の不安解消の一助として食品等事業者や消費者からの検査を実施しております。

検査料金は、低額に設定してあります。

検査件数 11件 相談件数 12件

(7) 食品衛生の普及に関する事業

① 食品の安全確保に関する事業

「平成30年度農林水産省補助事業 小規模事業者向けHACCPの考え方を取り入れた衛生管理研修会」を次の3会場で実施するとともに、会津大学での開催にあつては、「食品衛生及び食品の安全確保に関する講習会」の位置付けで行いました。

<日時・会場>

平成30年 9月27日 会津大学 受講者 98名

平成30年10月16日 ビックパレット 受講者 83名

平成30年11月29日 福島県文化センター 受講者107名 計288名

<講習内容>

組織の運営・消費者の信頼確保とHACCP制度化の動向について

(公社)日本食品衛生協会

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理について

(公社)日本食品衛生協会

業界団体の手引書概要と日本発食品安全管理規格・認証について

(公社)日本食品衛生協会

② 食中毒予防情報普及事業

ア 食品衛生月間

8月の1ヵ月間は、食品衛生月間で、国、都道府県等が主催し、全国の食品衛生協会が協力して様々な食中毒防止の啓発を行います。当協会では、各地区食品衛生協会へ食品衛生月間ポスターを配布しました。また、各食品衛生協会では食品衛生指導員による巡回指導の実施、講習会の開催、街頭キャンペーンの実施、パネルの展示、食中毒防止ノボリの掲揚等を行い食中毒の防止を消費者や食品営業者等に広く啓発しました。

食品衛生月間ポスター 450枚

イ 食品衛生関係ノボリの掲揚等による広報を行いました。

ウ 会報の発行

8月と1月に機関誌として会報「福島食品衛生」を各5,000部発行しました。

エ 電話による食品衛生相談の開設事業

食品営業者及び消費者からの電話相談（食品衛生責任者、自主検査、講習会、営業許可、HACCP等）の対応を行いました。

相談件数 1, 524件

③ 毎月15日の「食品衛生の日」の普及事業

毎月15日を「食品衛生の日」として、食品衛生の確保と向上を目指し、会員が自己施設の衛生点検を行うため、自主管理票等を配布しました。

④ 福島県食品衛生協会推奨優良食品・優良施設・優良衛生機器類の推奨事業

会員の優良な食品、施設及び衛生機器類を広く消費者及び食品営業者等に知っていただき、特に消費者がお店の選定の目安となるよう推奨事業を行いました。

- ・推奨優良食品 30件
- ・推奨優良施設 55施設
- ・推奨衛生機器類 7件

⑤ 情報提供事業（別表7）

情報提供を希望する製造業等の会員に対し、メールアドレスを登録していただき、日食協や行政からの情報を一斉送信により提供しました。

参加会員数 268件 情報提供回数 28回

また、フェイスブックを開設し、地区食協も含め、活動状況の情報提供に努めました。

記事投稿回数 15回 閲覧者数 6, 742名

(8) 食品衛生責任者養成講習会（別表2）

福島県、福島市、郡山市及びいわき市から養成機関の指定を受け実施しています。平成30年度は29回開催し、受講者数は2, 029名となりました。

(9) 特別講演会開催等事業

食品衛生講習会等

ノロウイルス予防強化期間に合わせて、「ノロウイルス食中毒予防と対策」にかかわる講演会が各地区食品衛生協会主催で開催され、当協会が後援し、支援をしました。これら講習会には930名（開催回数8回）の当協会会員や県民の方々に参加いただきました。

また、その他各種団体等が主催した講習会等へ講師を派遣しました。（回数 1回）

(10) 職員研修に関する事業

地区食品衛生協会事務局職員を対象とした研修会を開催し、食品衛生責任者養成講習会等の実施計画や協議事項について協議を行いました。

平成31年2月8日 郡山市 郡山商工会議所

<研修内容>

公益社団法人日本食品衛生協会の共済事業について

公益社団法人日本食品衛生協会共済部 水野 一正 様
川瀬 響 様

(11) (公社) 日本食品衛生協会北海道・東北ブロック大会

平成30年6月7日～8日、宮城県支部主管で約400名が参加して開催されました。本県からは、24名の会員が参加しました。

また、大会席上、下記の方が受賞されました。

日食協 あんしんフード君制度発足10周年記念感謝状 安藤 幸恵（県 中）
鈴木 弘子（いわき）

(12) (公社) 日本食品衛生協会北海道・東北ブロック連絡協議会・三部会長会議

平成30年10月5日～6日、仙台市で開催されました。

① 連絡協議会

ア ブロック大会の指導員の体験発表

イ 日本食品衛生協会の事業、事務等の説明

ウ ブロック内の提案事項の協議

② 三部会長会議

ア 食品衛生指導員部会長会議

イ 共済部会長会議

ウ 事務局長会議

・指導員活動、共済加入促進等について協議を行いました。

(13) 他団体との連携

食品衛生に係る団体との連携を深め、食品衛生思想の普及等に努力しました。

① (公財)福島県保健衛生協会と食品等の自主検査事業等の推進について協議を行いました。

② (公財)福島県観光物産交流協会総会、役員会へ出席しました。

<収益関係事業>

(1) 福利厚生に関する事業 (別表8)

① 食品営業賠償共済事業

被害者の救済と会員の営業の安定に備えるための賠償共済事業は、各食品衛生協会の協力を得ながら加入促進を図りました。

加入件数6, 163件 (目標件数に対する達成率は61.1%)

平成30年度の賠償支払件数11件 (別表9)

② 火災共済事業

他の保険会社の損害保障に比べ低保険料で高額な保険金が支払われる日本食品衛生協会独自の有利な共済制度ですので、この点を強調し加入促進を図りました。

③ 生命共済事業

食協生命共済はジブラルタ生命保険(株)と団体扱契約のもとに食協事業として取り組み、広報等に努めています。

(2) あんしんフード君制度説明会

平成30年9月、東京都において、(公社)日本食品衛生協会主催による「あんしんフード君制度説明会」が開催されました。各地区食品衛生協会職員(6名)が出席しました。

(3) 食品衛生に係わる優良図書普及 (別表10)

① 月刊「食と健康」等の購読及び普及推進事業

食品衛生の情報源となる月刊「食と健康」の購読促進を図りました。